

(別添7)

事業所名 グループホーム ふれんど

2 目標達成計画

作成日: 平成 23 年 5月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	調理担当職員は、食事時間に一緒に食卓を囲むが、他の職員は別の所で食事をしている。	入居者・職員が、同じ食卓に座り楽しく食事ができ、家族の様な関係ができる。	弁当の職員もいるので、勤務形態により、食事と一緒にする職員と、しない職員とをわけていた。再度、食事に関する内容で職員会議を行い、職員の気づきやアイデアを取り入れながら見直しを行う。	1ヶ月
2	26	介護計画は3～6ヶ月毎に作成していた。しかし、職員間で支援内容を話し合い、支援の方向性を決めることに至っていなかった。また、モニタリングも3ヶ月のプランの評価で良いと思っていた。	毎月、個々の変化に応じた計画になっているか職員全員で確認(モニタリング)する。	職員一人一人が、日頃の関わりの中で、思いや、意見を聞いたことなどをまとめ、モニタリングしていく。職員一人一人が、意見や支援提案ができるようになるように、スキルアップに努める。	2ヶ月
3	33	現在重度・終末期のケアに対する、具体的な指針がない。	組織として重度化・終末期の基本方針を決める。	職員や組織が現状の課題とあるべき姿を話し合い、方針を決めていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。